

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 2 回 岩舟地域会議
開催日時	平成 27 年 6 月 26 日 14 時 00 分 開会 15 時 07 分 閉会
開催場所	岩舟総合支所 会議室棟 第 1 会議室
出席者氏名	川島卓郎、佐山耕基、高久厚子、田中正太郎、寺内正市、寺澤登美子、松井梅代、三ツ森紀子、天下井祐子、安藤芳雄、海老沼一利、渡辺仁一、金澤眞義、齋藤栄吉、栃木孝 以上 15 名
欠席者氏名	小倉久緒
事務局職員職氏名	総合支所長 大島純一、地域まちづくり課長 三柴 浩一、課長補佐 岩崎充、主査 小松原雅人、主事 竹山仁人 以上 5 名
その他出席者等	
会議事項	
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局 ★会長	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p>
事務局	<p>(1) 部会の所属について</p> <p><説明></p> <p>部会は総務産業建設部会、教育民生部会の 2 部会とし、委員 16 名がどちらかの部会に所属するものとする。資料 1 の部会別名簿案を提示する。</p> <p>資料 1 原案通りでよいか諮る。異議なしの声あり。</p> <p>原案通り決定する。</p> <p><部会ごとに部会長、職務代理者選出></p> <p>総務産業建設部会 部会長 齋藤委員、職務代理者 佐山委員</p> <p>教育民生部会 部会長 海老沼委員、職務代理者 高久委員</p> <p>以上決定する。</p>
事務局	<p>(2) 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）の策定について</p> <p><説明></p> <p>岩舟合併前につくられた栃木市都市計画マスタープランについて、岩舟地域を加えた改訂版栃木市都市計画マスタープランを今年度中に策定する。</p> <p>以上報告する。</p>
	<p>(3) 地域予算提案制度について</p>

事務局	<p><説明></p> <p>資料3により説明。岩舟地域としてどのような事業を提案するか絞り込んでいきたい。方法として今までの地域協議会の意見書で取り上げたもの、地域会議委員の意見として出たものから徐々に絞り込んでいきたい。</p>
●委員	<p><質問></p> <p>資料3に例示された事業以外の事業を提案できるのか？岩舟町時代からの課題となっていたことに対する事業を提案できるのか？</p>
事務局	<p>可能である。</p>
●委員	<p>行政と地域の役割分担は、必須か？また、岩舟地域会議の予算枠はどのくらいか？</p>
事務局	<p>必須と考えてもらってよい。行政のみで完結してしまう事業は基本的に対象とならない。岩舟地域会議の予算枠は確定ではないが、約300万円と見込まれている。</p>
●委員	<p>役割分担について、管理が必要な施設整備を提案した場合は行政で整備された施設を地域で管理していくという考え方でよいか？</p>
事務局	<p>そのような事業が提案されればよいと思う。</p>
●委員	<p>役割分担は事業を継続して実施していくことができるようになるための仕組みづくりのひとつである。自分たちの地域は自分たちでよくしていこうということである。</p>
事務局	<p>まちづくり実働組織との関連はあるか？</p>
●委員	<p>特にまちづくり実働組織と関連付ける必要はない。ただ、まちづくり実働組織は地域会議や自治会との関係性は大きいに見込まれるので、まちづくり実働組織に関する事業を提案することは計画次第で対象事業になる可能性はある。</p>
事務局	<p>岩舟町時代の事業で合併に伴いなくなってしまった事業は提案可能か？また、部会である程度話し合って、提案事業を絞り込んではどうか？</p>
★会長	<p>可能であるが、岩舟住民のみが恩恵を受けるようなものは認められない。また、廃止となった事業の復活は認められない。</p> <p>部会で提案事業を絞り込むことは可能である。</p> <p>部会を開催することを諮る。</p>
●委員	<p>異議なし。7月14日（火）19：00に部会を開催することを決定する。</p>
●委員	<p>4. その他</p>
●委員	<p>(1) 栃木市文化振興計画推進懇談会委員の推薦について 渡辺会長を推薦することを決定する。</p>
●委員	<p>(2) その他</p>
●委員	<p>地域会議委員に対する宛職が多いと思われる。</p>
●委員	<p>静和2区で実働組織の勉強会を始めた。今後この場で報告をしていきたい。</p>
●委員	<p>5. 閉 会</p>